

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長				係長	担当

姓 名 性別 年齢 職業 報告者 場所 状況 症状 対応 バイタルサイン 要因 原因 事故防止 対策 家族への 説明	●●●●● ●●●● 様 男 (女) 71 歳 ●●●● ■居室 □ホール □浴室 □トイレ □拠点フロア □廊下 □階段 □屋外 □送迎車内 □その他 () □転倒 ■転落 □誤食 □誤嚥 □誤薬 □トラブル □単独外出 □介護中 ■不明 □その他 () <施設内連絡> 9:10 ●●援助員から施設長へ、ベッドからの衝撃緩和マットへの座り込みの件について報告する。 9:20 ●●援助員から副施設長へ、ベッドから衝撃緩和マットへの座り込みの件について報告する。 ■無傷 □表皮剥離 □擦過 □切傷 □内出血 □火傷 □腫れ □変色 □熱感 □その他 () 痛みの訴えなく、腫れ変色などの症状も見られない。 ■様子観察 □湿布 □冷却 □吐かせる □吸引 □止血 □受診 □その他 () ベッドへと移乗後に、皮膚に変色や腫れ、外傷などがないか確認し、その後、バイタル測定を行い、待機医務に連絡し、様子観察する様指示受ける。	施設長 副施設長 要介護度 移動 発生(発見)日時 平成28年09月28日(水) 22:35 分頃 部位 計測時間 □見守り不足 ■知識・技術不足 □ルール不遵守 □情報不足 □環境・設備 □設備・点検不足 □人為的問題 □その他 () ①退院時にはADLの低下から全介助が必要との情報だった。しかし入所してから多動な様子あり立ち上がり、寝返り、起き上がりといった動作が出来る状態であった。認知症もあり入院前に利用していたグループでもベッドから降りる(転落?)といった事もあった事から今回利用する個室は普段職員が業務をする場所からは離れており、ちらちら様子を見に行く事が出来なかった。尚、今回の利用時は夜間1時間に一度様子を見に行く対応がされていた。 ②介護職員が普段業務により様子を見に行きやすい居室に移動する。 ③今回のようにいつベッドから降りるかは認知症である方なので予測はつかない。ベッド両脇に衝撃緩和マットを敷いて最小限のリスクで抑えれるよう継続。 カンファレンスの必要性について ■不要 □必要 平成28年09月29日(木) 説明方法 □面会 ■電話 説明職員 ●●●●● 家族氏名 ●●●● (●●) 続柄 長男 電話連絡によりベッドからずり落ちした件を報告する。マットの上に座り込んでいたため、外傷なく本人も元気である事をお伝えする。職員が見守り出来るよう、本日より居室変更させていただく事お伝えし、「その辺りはお任せしますので、よろしくお願いします。」と返答いただく。
--	---	--